

所属 創造表現学部		職名 教授	氏名 酒井 晶代	学位 教育学修士	兼任している研究科 文化創造研究科
研究分野 文学、言語学およびその関連分野、教育学およびその関連分野			研究分野のキーワード 日本文学関連、子ども学および保育学関連、教育学関連		
学歴					
1988年03月		愛知県立大学文学部児童教育学科卒業			
1991年03月		大阪教育大学大学院教育学研究科(修士課程)修了			
職歴					
1991年04月		愛知県公立小学校教諭			
1992年04月		財団法人大阪国際児童文学館専門員			
1995年04月		愛知淑徳短期大学教員			
2000年04月		愛知淑徳大学教員			
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
現代日本子ども読書史図鑑	共著	2023年01月	柊風舎	佐藤宗子・久米依子編・酒井晶代ほか分担執筆	46頁,105頁,164頁,189頁,241頁,243頁,306頁,332頁,437頁,523頁
『子どもの読書を考える事典』項目執筆	共著	2023年05月	朝倉書店	汐崎順子編・酒井晶代ほか分担執筆	184頁～185頁
学術論文					
森永製菓の児童文化関連事業前史——小波・三越とのつながりを手がかりとして——	単著	2022年03月	一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 大阪国際児童文学振興財団研究紀要 第35号		33頁～49頁
研究ノート 巖谷小波という呉服店——出発期の動向・新聞記事を手がかりとして——	単著	2023年03月	一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 大阪国際児童文学振興財団研究紀要 第36号		19頁～42頁
「日常」と「非常」のはざままで	単著	2023年06月	一般社団法人 日本児童文学者協会 日本児童文学 第69巻 第3号		60頁～63頁
JSPS科研費成果報告 巖谷小波の花巻巡講——花巻尋常高等小学校(大正四年九月一五日)の絵葉書を出発点として——	単著	2024年03月	一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 大阪国際児童文学振興財団研究紀要 第37号		35頁～52頁
一九四六年生まれの小猫——大佛次郎の童話「スイッチョ猫」——	単著	2025年12月	日本文学協会 日本文学 第74巻 第12号		50頁～53頁
研究ノート 大佛次郎(野尻清彦)の児童文化体験——雑誌『少年世界』との関わりを中心に——	単著	2026年03月	一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 大阪国際児童文学振興財団研究紀要 第39号		15頁～35頁
学会発表					
ラウンドテーブル「巖谷小波の絵葉書から見えてくるもの：旅と家族と幅広いネットワーク状況をたどる」	共同発表	2023年11月	日本児童文学学会第62回研究大会(武蔵野大学 武蔵野キャンパス)		
いとう呉服店の児童文化関連事業——明治末から大正期の展開を中心に——	単独発表	2024年11月	日本児童文学学会第63回研究大会(京都華頂大学・華頂短期大学)		
作品・制作等					
その他業績					

『言論統制』と私	単独	2021年04月	京都メディア史研究年報 第7号 佐藤卓己教授還暦祝賀記念号		50頁～51頁
雑誌『赤い鳥』に集った青年たち— 新美南吉と森三郎を中心に—（第33 回新美南吉顕彰講演会講演録）	単独	2023年03月	新美南吉記念館研究紀要 第29号		25頁～47頁
【資料紹介】雑誌『伸びて行く』への 発表作品二編について	単独	2024年02月	かささぎ(「森三郎の作品を 読む会」会誌) 第6号		6 頁～7 頁
「明治以降の絵葉書に見る児童文学 ・児童文化の研究—巖谷小波旧蔵資 料の分析—」研究分担(2024年度～2 026年度)	共同	2024年04月	学術研究助成基金助成金(基 盤研究C)交付による	研究代表者・土居安子(大阪国際児童 文学振興財団)、研究分担者・酒井晶 代ほか計8名	研究分担者
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
1988年09月～現在	日本児童文学学会			2013年10月～2017年11月 理事 2017年11月～2019年11月 評議員 2019年11月～2023年11月 理事 2023年11月～2025年11月 評議員(2025年度は紀要編集委員を兼務) 2025年12月～現在 代表理事	
1995年04月～現在	日本児童文学学会中部支部			2013年04月～2017年03月 事務局 2022年04月～2026年03月 支部長	
2006年04月～現在	日本文学協会			2024年12月～現在 委員	
社会活動					
2010年04月～現在	「新美南吉童話賞」特別審査員				
2016年08月～現在	新美南吉記念館事業推進委員				
2022年03月21日	貝殻忌講演会(主催：新美南吉顕彰会・半田市教育委員会)にて「雑誌『赤い鳥』に集った青年たち—新美南吉と森三郎を中心に—」の演題で講演(於半田市福祉文化会館 雁宿ホール)				
2023年05月21日	「富安陽子×山本悦子『わたしの創作の"泉"』」(新美南吉生誕110年記念 新美南吉童話賞審査員対談・講演会)において、コーディネーターを務めた(於半田市福祉文化会館 雁宿ホール)				
教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
学外教育を活用したゼミの充実・発展			2002年04月～現在	3年ゼミ生を対象として、毎年、夏期休暇を利用したゼミ旅行(学外教育)を実施している。短編創作や読書会、施設見学等を通して児童文学への関心を深めると同時に、目的地やスケジュールを学生間の話し合いで決定させ、仲間づくりの場になるよう配慮している。	
作品公開による学習意欲の向上			2003年04月～現在	ゼミで提出された作品を授業内で読みあうのみならず、各種公募への投稿、児童文学団体の例会・セミナーでの合評など、学外にも公開し、評価してもらうよう努めてきた。	
「児童文化論」「児童文学」授業アンケートに伴う授業方法の工夫			2004年04月～現在	2004年度より導入された「授業に関するアンケート」では、その結果を踏まえて授業方法を工夫している。技術的な事柄はもとより、授業の目的についても振りかえり、見直す機会となっている。	
2 作成した教科書、教材、参考書					
「児童文学ゼミ文集」の発行			2004年03月～現在	ゼミ生の卒業論文・制作を編んだ文集。2年間のゼミのまとめとして毎年度末に発行している。また、1学年下のゼミ生にも配布し、卒業論文・制作の指導に活用している。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
訪問学習への対応(インタビューと模擬授業)			2024年07月10日	「言葉の効果的な表現や工夫について知りたい」とのリクエストをうけて、名古屋経済大学市邨高等学校の生徒2名に対して、「文学における『効果』とは?『使わる』とは?」のテーマで模擬授業を行った。あわせてインタビューにも応じた。	
5 大学運営					
文化創造研究科 教務委員			2014年04月～2022年03月		

初年次教育部門運営委員	2017年04月 ~ 2022年03月	
基幹科目運営委員	2017年04月 ~ 2023年03月	
文化創造研究科 学生生活委員	2017年04月 ~ 現在	
全学日本語教育主任	2018年04月 ~ 2022年03月	
創造表現学部 FD及び自己点検・評価委員	2019年04月 ~ 2023年03月	
文化創造研究科 FD及び自己点検・評価委員	2019年04月 ~ 2023年03月	
創造表現学部 学生生活委員	2021年04月 ~ 2022年03月	
創造表現学部 教務委員	2022年04月 ~ 現在	
創造表現学部 予算委員	2023年04月 ~ 2026年03月	
創造表現学部創作表現専攻 専攻主任	2026年04月 ~ 現在	
V 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		